

News Release

日本工営 基準読解や入札等サポートの生成 AI システムを開発 -業界特化型の生成 AI で社内の DX を推進-

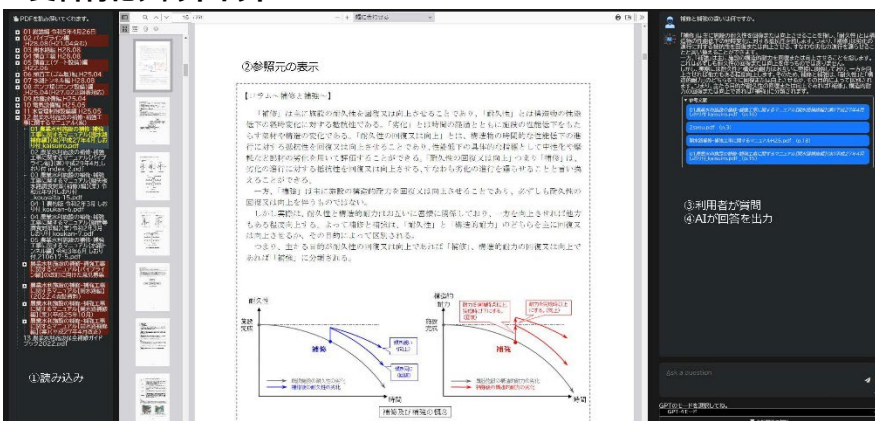
ID&E ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：新屋浩明）傘下の日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金井晴彦、以下「日本工営」）は、業務効率化や高度化を目的として、技術基準読解や入札案件の分析、データの可視化等を行う生成 AI を用いたシステムを開発し、自社内での展開を推進します。

生成 AI（生成型人工知能）の技術は、生産性や付加価値の向上等を通じて大きなビジネス機会を引き出すとともに、様々な社会課題の解決に資することが期待されています。一方で生成 AI の開発や業務利用にあたっては、適切な深層学習の実施や、著作権侵害や情報漏洩等のリスクを分析し、適切な対応を行うことが求められています。

日本工営では 2018 年 7 月に AI の研究開発に特化した組織を発足し、AI に関する知見を集積してきました。こうした強みを生かし、生成 AI を用いて専門用語や業界特有の実務に特化した回答を得られるシステムを開発^{※1}し、クローズドでセキュアな環境下で、自社内において利活用を開始しています。また、開発した技術と運用ノウハウをもとに、顧客のニーズに合わせたサービス提供を進めています。

※1 本分野の研究成果として、2023 年土木学会 構造委員会の AI・データサイエンス論文賞を受賞。「土木・建設分野における大規模言語モデルの利活用に向けた検証と考察」
<https://committees.jsce.or.jp/struct1002/node/42>

●資料特化チャットボット

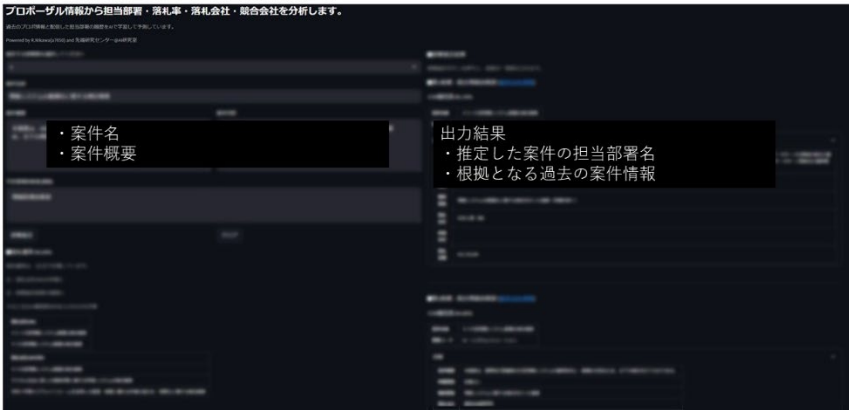


画面イメージ①（様々な分野の基準書・ガイドライン内の検索・分析）

「農業水利施設の機能保全の手引き、ダム機能診断マニュアル、ダム耐震性能照査マニュアル」（農林水産省）(<https://www.maff.go.jp/j/nousin/mizu/sutomane/kinouhozen.html>)を参照元として使用。

内容：読み込ませるファイルを指定し、大量の技術基準書やガイドラインを学習した AI に、利用者が用語の意味や考え方、具体的な事例等をチャットで質問すると、参照した箇所と併せて回答が出力される。膨大な書類を読み込む手間が省ける。当社ノウハウにより、適切な回答が得られるようにチューニングを重ねるとともに、ブラウザ型の使いやすいインターフェースを作成した。

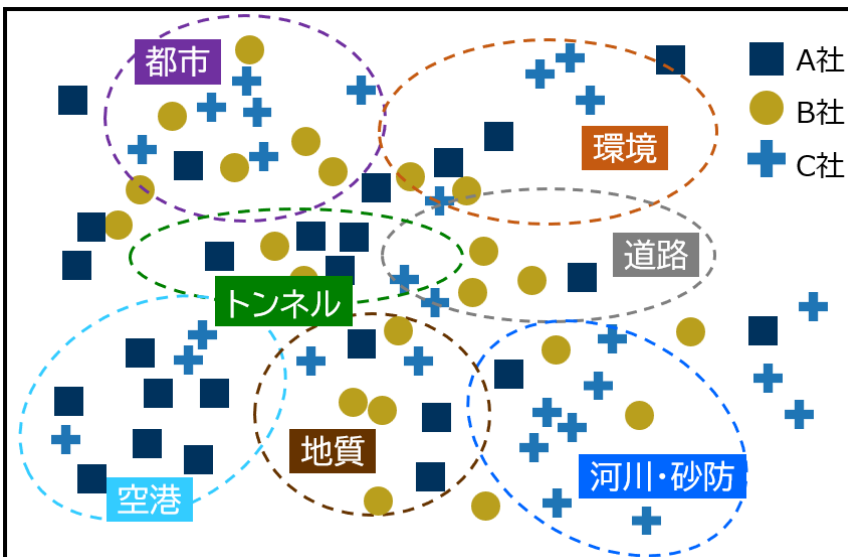
●案件情報分析 AI



画面イメージ②（過去の案件情報に基づき、適切な担当部署を推定）

内容： 新規の入札案件の名称等を入力すると、当社データベースに蓄積されている過去の入札情報をもとに、類似案件を表示する。このように文章の類似度を AI で判定することにより、組織内のデータベース利用の効率化を進めることができる。

●受注案件の見える化を行う AI



画面イメージ③（受注案件の落札会社・落札率・競合他社を分析し、見える化が可能）

内容： 生成 AI のデータ分析機能を使って各社の受注状況を散布図で分類し、業界内の強み・弱みなどを分析し、結果を見える化する。文書データを可視化することにより、意思決定・合意形成の支援に役立てるサービスを提供できる。

●要約 AI

内容： 任意の資料を要約することが可能。要約方法は様々なパターンから選択可能。

ID&E グループおよび日本工営ではデジタル・トランスフォーメーションを積極的に推進し、今後も社内の生産性を革新することで、新たな価値を創造してまいります。

—本件に関するお問い合わせ先—

ID&E ホールディングス株式会社 経営管理本部 コーポレートコミュニケーション室
TEL :03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <https://www.id-and-e-hd.co.jp/>